

緊急時パーソナルメモ

※油性のペンで記入してください。

●所 属 大学院研究科
学部・学科

●氏 名

●生年月日 年 月 日
血液型 ()

●現 住 所
〒 -

●帰省先住所

●緊急時連絡先（本人以外）

続柄 ()

●その他（持病・常用薬・アレルギーなど）

※本カードを拾得された方は大学まで連絡してください
(TEL: 0569-87-2213 総務課)

大学への安否報告について

本学では、愛知県内または保証人住所のある都道府県で震度5弱以上の地震が発生した場合、安否確認メールが学生・教職員の大学メールアドレスに自動送信されますので、状況を報告してください。



安否確認専用アプリの活用

専用アプリ (ANPIC) から複数のメール登録やLINEとの連携も可能です。右のQRコード先にあるマニュアルから登録してください。



大学からの情報発信方法

大学からの情報発信はホームページより行いますので、随時確認してください。

日本福祉大学ホームページ

<https://www.n-fukushi.ac.jp/>



※本カードは大学ホームページよりダウンロードが可能です。

防災・減災 カード



2025年10月（データ版改訂）



日本福祉大学
(災害ボランティアセンター監修)

地震が発生したら

身を守る

- ・机の下等に隠れる
- ・火の始末を行う
- ・脱出路の確保（ドアを開ける）
- ・危険物から離れる

地震が収まったら

安全の 確保

- ・周囲の状況を確認する
- ・今いる場所が危険なら、避難所などに移動

身の安全が確保できたら

家族と 連絡

- ・事前に確認した連絡先に安否を報告
- ・今後の行動や集合場所、連絡先を確認する

帰宅判断

- ・正確な情報収集に努める
- ・学外にいる場合は警察や消防・避難所の指示に従う
- ・学内にいる場合は指示に従う

大学へ安否報告を行う

報告の方法は、項目「大学への安否報告について」を参照

家族との連絡方法

電話 で確認

NTT災害用伝言ダイヤル・伝言板

☎ **171** をダイヤル

録音 **1**

暗証番号を利用 録音 **3**

再生 **2**

暗証番号を利用 再生 **4**

該当者の電話番号を入力

伝言の録音 **1**
(30秒以内)

伝言の再生 **1**

インターネット で確認

NTT災害用伝言板 WEB171



インターネット上から伝言(文字)を登録・閲覧することができます。

<https://www.web171.jp/>

防災・減災関連情報サイト (2025年10月時点)

アプリが変更されている場合があります。つながらない場合は、文字検索などで最新の情報をご確認ください。

携帯各社の災害伝言板



docomo・ahamo



au



softbank・Y!mobile・LINEMO



楽天モバイル

上記を除くキャリアを利用されている方は、NTT災害用伝言板 WEB171(左面を参照)を利用してください。登録の体験(毎月1日・15日など)も可能です。

NHKONE ニュース・防災 (2025年10月改訂)

NHK ONE
ニュース
防災

アプリ



iPhone



Android

日本気象協会



天気予報のほか、地震・津波・火山・台風情報等を提供

TEAM防災ジャパン(内閣府)

防災に関するあらゆる情報が集約されたポータルサイト



災害時障害者のためのサイト (NHK)



災害発生時に、支援を要する方を対象に、防災や減災のためのヒントがまとめられています。

ハザードマップポータルサイト (国土交通省)

洪水・土砂災害・高潮・津波などのリスク情報はじめ、各自治体で作成したハザードマップの閲覧が可能です。



災害が起きる前に私たちができること

安否確認方法・集合場所の確認

災害はいつ発生するかわかりません。家族との安否確認方法や集合場所等を事前に決めておきましょう。

避難場所や避難経路の確認

居住地や通学・通勤経路上にある自治体の防災マップを確認し、避難場所や移動経路を確認しておきましょう。

食料・飲料、常備薬の備蓄

3日分を目安に、食料・飲料や常備薬などのパーソナルグッズを備蓄しておきましょう。また、通学・通勤カバンにお菓子などを入れておくのもお勧めです。

スマートフォンは災害時の生命線

家族との安否確認や情報収集の手段として、スマートフォンは必須アイテムです。日頃の充電はもちろんのこと、モバイルバッテリーなどの充電器が大いに役立ちます。